

沖縄県立看護大学紀要投稿規程（2007. 3 改訂）

1. 投稿者の資格

紀要投稿者は、本学の教職員（旧教職員を含む）、非常勤講師、大学院生・研究生及び紀要編集委員会（以下、委員会）が執筆を依頼した者とする。筆頭著者は原則として投稿資格を有する者とする。投稿資格を有する者は学外の研究者を連名投稿者にすることができる。

2. 投稿の種類

原稿の種類は論壇、総説、原著、報告、研究ノート、資料、その他であり、未公開のものに限る。また著者は原稿にその何れかを明記しなければならない。なお、投稿原稿は返却しない。

3. 原稿の採否

原稿の採否は委員会により決定する。原稿は委員会委員ならびに委員会が委任した者が査読し、内容の加除、訂正を求められることがある。また倫理上問題があると委員会が判断した原稿は受理しない。

4. 校正

投稿者による校正は再校までとし、校正に際して原文の変更あるいは追加は認めない。

5. 原稿作成上の留意点

1) 原稿は和文または英文とする。原稿（本文、図、表、写真などを含む）は正1部、副（コピー）2部と、原稿を保存した3.5インチフロッピーディスク（保存形式を明記）を添付して提出する。

2) 原稿はA4版にて和文40字（全角）?30行、英文80字（半角）?30行を1ページとする。和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角（1バイト、ASC?コード）に統一する。例えば、?、?、? など機種に依存する特殊記号は使用しない。また、カタカナは必ず全角文字（2バイト）とし、半角文字（1バイト）では表記しない。すなわち、「ナ-」ではなく「ナース」である。イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

3) 投稿論文の種類（制限枚数：図表1つをA4、0.5頁と数える）

論壇Sounding Board（2頁）：本学の教育、保健看護領域に関わる話題のうち、議論が交わされつつある

ものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言

総説Review Article（20頁）：とりあげた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し、今後の方向を展望したもの。

原著 Original Article（20頁）：テーマが明瞭で獨創性に富み、新しい知見や理解が倫理的に示されているもの。研究論文として形式が整い、研究としての意義が認められているもの。

報告 Report（10頁）には次のものが含まれる。

(1) 調査報告：調査・実験などで得られたデータをまとめ、本学の教育、保健看護領域の発展に寄与するもの。

(2) 事例報告：事例を用いた分析が保健看護領域の展開に寄与するもの。

(3) 実践報告：保健看護領域の臨床、ないし教育に関する手技・技術や実践の方法に関するもの。

研究ノート Research Note（10頁）：萌芽的研究、追試的研究、研究情報（文献レビューもこれに含める）など。

資料 Sources/Information（10頁）：調査・実践などで得られたデータや資料そのものに利用価値をもち、とくに仮説検定の意図をもたず示したもの。

その他 Other（10頁）：上記のカテゴリーに分類することが難しいが、委員会により掲載が妥当と認められたもの。

4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1などの番号で区別し、本文とは別に一括する。

5) 文献の記載

本文中の引用順に番号を付し、本文の引用箇所の右肩に1)、1~4) など上付1/4サイズの文字で番号を示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に列記する。

g 雑誌の引用の場合

著者名（著者は全員を列挙する）：表題、雑誌名、巻（号）：頁-頁、西暦年次。

<例>

1) 天野洋子、上田礼子、桜井あや子、安里葉子：中学生の対処行動に関する研究?悩みや困ったことのある場合～。沖縄県立看護大学紀要、1(1)：1-8、

2000

- 2) Imai S, Nakazawa M and Toyosato A : Effects of Rp-8-Br-cGMPS, a selective inhibitor of activation of cyclic GMP-dependent protein kinases by cyclic GMP, on relation of the rat aortic smooth muscle induced by nitroglycerin and nitro-prusside. Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing, 1(1):23-27, 2000

w 単行本を引用する場合

著者名：書名（版）、頁・頁、出版地、出版社（発行所）、西暦年次。

<例>

3) 上田礼子：ライフサイクルと保健活動の実践
一周産期・乳児期・小児期? . pp184-186、東京、
出版科学研究所、1985 .

4) Pope C and Mays N eds.: Qualitative research in health care (2nd). 59-74, London, BMJ books, 2000.

e 分担執筆の本の分担箇所を引用する場合

分担著者名：分担箇所のタイトル、編集者名：書籍の

タイトル、出版地、出版社、引用した頁、出版年。

<例>

5) Sedwick RP, Boder E: Ataxia-telangiectasia.
In: Vinken PJ, Bruyn GW (eds) : Handbook of clinical
neurology, vol 14. Amsterdam, North-Holland, 267-
339, 1972.

r 訳本を引用する場合

原著者名：書名（版）、発行年次、訳者名：書名、頁、
発行所、西暦年次。

<例>

6) Bailar JC, Mosteller F eds.: Medical uses of
statistics. 1986. 津谷喜一郎、折笠秀樹監訳：医学統計
学の活用 . 125-141、サイエンティスト社、1995.

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法
については紀要編集委員会が協議し書式を決定する。

沖縄県立看護大学紀要の英文の略称は「J of
OPCN」とする。英文による沖縄県立看護大学紀要
を引用の際にはこの略称を使用のこと。

- 6) 原著論文の本文構成は、Iはじめに(Introduction)、
II研究方法(Materials and Methods)、III結果(Res
ults)、IV考察(Discussion)、V結論(Conclusion)、

謝辞(Acknowledgment)、文献(References)とする。
またIIあるいはIIIで段階的に段落を記述する場合、段
落番号は、1.2.3. . . .とし、1.をさらに細分
する場合は1)2)3) . . .とする。

- 7) 論壇を除く全ての投稿原稿には英文(300語程度)
および和文(600字程度)抄録を付ける。抄録は表題、
著者名、所属、キーワード(5個以内)、抄録本文と
する。抄録本文(Abstract)は背景(Background)、目
的(Objective)、研究デザイン(Design)、対象
(Subjects)、結果(Results)、結論(Conclusion)などが
わかるように簡潔にまとめる。

- 8) 英文抄録は次の要領でまとめること。

(1) 英語のタイトルは次のように記述すること。

<例>

Nursing Education for Health Development and
The Japan International Cooperation Agency
(JICA)

(2) 著者の記述は以下の通り。

<例>

Yuko MIYAGI, R.N., Koichi MIYAGI, M.D., Dr.
Med. Sci.

(3) Key Wordsは、固有名詞以外は小文字で記述す
る。

<例>

enterogenous cyst , spinal cyst, electron microscopy,
magnetic resonance imaging, carcinoembryonic
antigen.

- 9) 掲載論文の条件

人および動物を研究対象とする場合は、研究対象
に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に
明記すること。

- 10) 著作権

著作権は沖縄県立看護大学に帰属し、掲載後は本
学の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。また、
本学紀要編集委員会が用意する著作権譲渡同意書に
著者全員が自筆署名して、最終原稿提出時に添付す
ること。

なお、投稿論文は電子情報開示されることを了解の
上寄稿することを条件とする。

6. 諸経費およびその他の必要事項は別途定める。

編 集 後 記

沖縄県立看護大学紀要9号が発刊されることになりました。本号は原著1、報告5、研究ノート1、資料2、計9編の論文が記載されています。紀要への投稿は皆様の研究成果発表の1つの場として多いに活用していただき、さらなる研究向上に発展することを期待するものです。平成20年は沖縄県立看護大学創立10年そして紀要も10号と記念の年になりますので、多くの投稿論文を期待すると共にさらに充実した紀要にしたいと考えております。なお、第1号から第8号まで紀要編集委員会として論文などの編集を行なって参りましたが、今年度全委員会の編成があり紀要編集委員会は研究・研修委員会の紀要編集専門部会とし機能することになりました。

平成20年3月

紀要編集専門部会

部会長 安谷屋 均

紀要編集専門部会

部会長 安谷屋 均

副部会長 金城 芳 秀

大 湾 明 美

玉 城 清 子

名渡山 智 子

事務局 仲井真 美 幸

沖縄県立看護大学紀要第9号

発行日 平成20年3月

発行者 沖縄県立看護大学

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-24-1

Tel：098-833-8800

Fax：098-833-5133

印刷所 (有) ドリーム印刷

〒901-1117 沖縄県南風原町字津嘉山1537-6

Tel：098-889-2784

児童虐待防止活動における専門職者の教育的ニーズ
- 沖縄県離島の場合 -

山城五月 前田和子 上田礼子 沼口知恵子
盛島幸子 池原和子 仲宗根美佐子

小離島における「在宅死」の実現要因から探る
看護職者の役割機能

- 南大東島の在宅ターミナルケアの支援者たちの支援内容から -

大湾明美 坂東瑠美 佐久川政吉 呉地祥友里 上原綾子

助産技術教育へOSCE（客観的臨床能力試験）の導入

玉城清子 賀数いづみ 井上松代 西平朋子 下中壽美 前田和子

呼吸障害を有する慢性呼吸器疾患患者と
後遺症を有する脳卒中患者のQOL

石川りみ子 牧志久美子 玉井なおみ

看護師の手掌および鼻腔における薬剤耐性菌の検出頻度

仲宗根洋子 名渡山智子

沖縄県一離島における高齢者の外出支援の特徴
- T島の「ボランティア移送サービス」事例 -

佐久川政吉 大湾明美

育児不安・育児ストレスの測定尺度開発に関する文献検討
(1983年～2007年)

川崎道子 宮地文子 佐々木明子

看護学生における感染症対策の課題
本学学生の感染予防意識調査から

玉井なおみ 大川嶺子 嘉手苺英子

高齢者ニーズの捉え方

- 住民主体と利用者本位の「ずれ」 -

呉地祥友里 大湾明美 大川嶺子 小川なお子 佐久川政吉

JOURNAL

of
Okinawa Prefectural College of Nursing

No.9

Original Articles

- Educational Needs of Professionals in Child Abuse Prevention: One of Okinawa Islands in Japan
Satsuki Yamashiro, Kazuko Maeda, Reiko Ueda, Chieko Numaguchi, Sachiko Morishima,
Kazuko Ikehara, Misako Nakasone 1

Report

- Nursing Role Functions Derived from Caregiver Practices that Enable “Dying at Home”
on a Small Isolated Island: End of Life Care at Home, on Minamidaitou Island
Akemi Ohwan, Rumi Bandou, Masayoshi Sakugawa, Sayuri Kurechi, Ayako Uehara,11

- Introduction of OSCE (Objective Structured Clinical Examination) on Midwifery Skilled Education
Kiyoko Tamashiro, Izumi Kakazu, Matsuyo Inoue, Tomoko Nishihira,,
Hisami Shimonaka,, Kazuko Maeda21

- Study about the QOL of a Patient with Chronic Respiratory Disease and Cerebrovascular Disease
Rimiko Ishikawa, Kumiko Makishi, Naomi Tamai29

- The distribution of antibiotic resistant bacteria isolated from hand and nasal cavity of nurses.
Yoko Nasone, Tomoko Nadoyama39

- Characteristics of Support Provided for Elders to Go Out on an Isolated Island: Voluntary Transfer
Service on T Island
Masayoshi Sakugawa, Akemi Ohwan45

Research Notes

- The Literature Review on the Development of measurement scales of Parenting-Anxiety &
Parenting-Stress ? from 1983 to 2007 ?
Michiko Kawasaki, Fumiko Miyaji, Akiko Sasaki53

Sources/Information

- The Problem of Infection Control of Nursing Students - questionnaire survey for nursing students of
our college -
Naomi Tamai, Mineko Okawa, Eiko Kadekaru61

- How to Identify Elders' Needs—Gaps in Needs of Residents' Group and Elders
Sayuri Kurechi67

- Criteria for Manuscripts73

- Postscript75

March 2008

沖縄県立看護大学

紀 要

第 9 号

原著

- 児童虐待防止活動における専門職者の教育的ニーズ
—沖縄県離島の場合—
山城五月 前田和子 上田礼子 沼口知恵子 盛島幸子
池原和子 仲宗根美佐子……………1

報告

- 小離島における「在宅死」の実現要因から探る看護職者の役割機能
—南大東島の在宅ターミナルケアの支援者たちの支援内容から—
大湾明美 坂東瑠美 佐久川政吉 呉地祥友里 上原綾子……………11

- 助産技術教育へOSCE（客観的臨床能力試験）の導入
玉城清子 賀数いづみ 井上松代 西平朋子 下中壽美 前田和子……………21

- 呼吸障害を有する慢性呼吸器疾患患者と後遺症を有する脳卒中患者のQOL
石川りみ子 牧志久美子 玉井なおみ……………29

- 看護師の手掌および鼻腔における薬剤耐性菌の検出頻度
仲宗根洋子 名渡山智子……………39

- 沖縄県一離島における高齢者の外出支援の特徴
—T島の「ボランティア移送サービス」事例—
佐久川政吉 大湾明美……………45

研究ノート

- 育児不安・育児ストレスの測定尺度開発に関する文献検討（1983年～2007年）
川崎道子 宮地文子 佐々木明子……………53

資料

- 看護学生における感染症対策の課題
—本学学生の感染予防意識調査から—
玉井なおみ 大川嶺子 嘉手苺英子……………61

- 高齢者ニーズの捉え方
—住民主体と利用者本位の「ずれ」—
呉地祥友里 大湾明美 大川嶺子 小川なお子 佐久川政吉……………67

- 沖縄県立看護大学紀要投稿規程……………73
編集後記……………75

2008年3月